

ガイアの季節



第28号

医療法人 伴帥会
愛野記念病院

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲3838-1
TEL (0957) 36-0015 FAX (0957) 36-1027
ホームページ <http://www.ainomhp.jp/>



拡張された総合待合室

基本理念

- 一. 私たちは患者様、利用者様の立場にたち、納得していただける良質な医療・介護サービスを提供します。
- 一. 私たちは保健・医療・福祉を通じて地域の皆様の安心・信頼・満足のゆく健康で豊かな生活を支援します。

- 「臨床宗教師」の活動2
- 進化する医療現場／放射線科3
- 医療サービス環境の充実／新館と本館の拡張・増設フロアマップ.....4～5
- 地域情報／投球障害予防セミナー6
- 現場を直撃取材／地域医療連携室6
- TOPICS／鍼灸院からひと言メモ7
- Cookingレシピ／しょうがの調理と保存7

わたし達の町のー医療をサポートー 医療法人伴帥会 広報誌 ガイアの季節 第28号ー3月発行

発行／医療法人伴帥会 愛野記念病院

伴帥会グループは地域の医療・福祉をトータルでサポートします!!

愛野記念病院



【受付時間】
月～金 午前 8:00～午前 11:30
午後 1:00～午後 5:00
土曜 午前 8:00～午前 11:30
【診療時間】
月～金 午前 9:00～午後 0:30
午後 2:00～午後 5:00
土曜 午前 9:00～午後 0:30
【休診】日曜・祝日 第2土曜日

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-0015(代) FAX. 0957-36-1027

【診療科目】

整形外科、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、外科、消化器外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、耳鼻いんこう科、心療内科、麻酔科、放射線科

※救急の場合は24時間対応いたします。玄関は、7時30分に開けます。
※当院は、予約制となっております。

愛野記念病院 健診部門「健診プラザ」



- 生活習慣病予防健診
- 雇用時健診
- 企業健診
- 特定健診
- がん検診
- 人間ドック

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-27-5757 FAX. 0957-36-0070

愛の訪問看護ステーション

- 在宅での看護ケアの提供
- 医師の指示による点滴、医療処置の実施
- 日常生活の介助
- 看護学生の実習受け入れ

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-3370 FAX. 0957-36-3380

愛野記念病院ケアマネジメントセンター (居宅介護支援事業者)

- 要介護認定申請の代行業務
- 介護プランの作成
- 居宅サービスの調整や施設サービスの紹介
- 介護保険全般に関するご相談

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3838-1
TEL. 0957-36-3382 FAX. 0957-36-3405

介護老人保健施設 ガイアの里

ガイアの里 通所リハビリテーション



- 介護老人保健施設(入所)
- ショートステイ(短期入所)
- 通所リハビリテーション

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町乙 2314-1
TEL. 0957-36-3550 FAX. 0957-36-3553

グループホーム ●椿高野 ●山椿



- 生活リハビリ
- 認知症の進行緩和
- 認知症デイサービス

〒854-0302 長崎県雲仙市愛野町乙 2314-5
TEL. 0957-36-3558 FAX. 0957-36-2618

岐伯鍼灸院



- はり、灸施術
頭痛、肩こり、腰痛、
ひざ痛、内科的な疾患
などの緩和と回復

〒854-0301 長崎県雲仙市愛野町甲 3835-1
TEL. 0957-36-0134



平成31年1月から 1.5テスラMRI装置2台体制を開始しました!!

平成31年1月、装置更新によりPHILIPS社製1.5T-MRI装置「Prodiva 1.5T CX」を導入しました。当院ではすでに1.5T-MRI(キャノン社製)が1台稼働していますので、2台目の1.5T-MRI装置となりました。

今回導入した「Prodiva 1.5T CX」は九州では2号機となるPHILIPS社の最新機種で、画像を向上させるデジタルコイルを採用しています。このコイルにより鮮明な画像をより短い時間で収集することができます。また、様々なアプリケーションも充実しており、従来より短時間で撮影できる高速撮像技術や最新神経イメージング、全身拡散強調画像などこれまで以上に先進的なアプリケーションに対応し臨床的に有用な画像が提供できます。



PHILIPS 『Prodiva 1.5T CX』

Prodiva1.5T CX 検査画像

神経の高分解能イメージング技術 (3D・NerveVIEW)

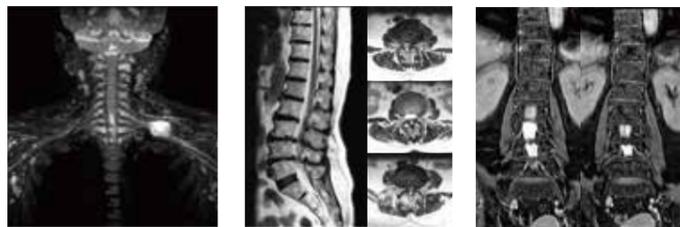
・神経根から腕神経叢までを高分解能に撮像することが出来る新しい撮像技術です。

神経根を抽出し、外側への圧排を評価可能(MR Neurography)

・神経根をルーチンに追加することで、神経根への圧排や外側ヘルニアが評価可能になります。

躯幹部拡散強調画像 (DWIBS)

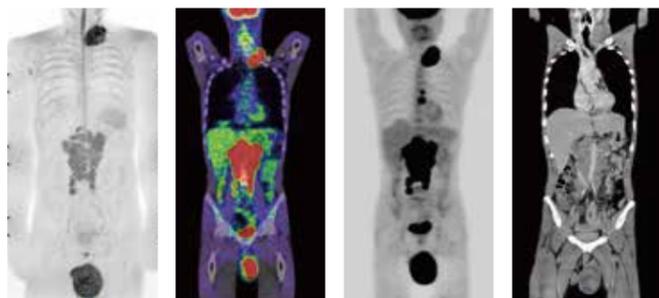
- ・拡散強調画像(DWI)を用いた躯幹部広範囲撮像を指します。
- ・PETは糖代謝を画像にするが、DWIBSは拡散制限を画像にします。
- ・熱源検索、転移検索、簡易的なスクリーニングやフォローとして活用できます。



最新技術
3D NerveVIEW

ルーチン画像

神経根撮像



DWIBS

PET-CT

PET

CT

〈医療機関の皆様へ〉

既存のMRIと2台体制になり、1日に行える検査数も大幅に増え、予約枠も最大26枠/日まで拡大しております。各々の機器の得意とする疾患へより細かい対応も可能となりました。

また、当院では地域密着の医療が行えるよう地域医療連携室では「MRI検査のみ」の予約も承っております。

地域医療連携室直通の電話《0957-36-3950》で詳しくご案内いたします。これからも、地域の皆様のお役に立てるように取り組んでいきたいと思っております。

放射線科 科長
臨床放射線技師 小川

わたし達は 「臨床宗教師」です。

苦悩や悲嘆を抱える患者さまに
寄り添い、緩和ケアや精神面での
援助活動をしています。



認定臨床宗教師
認定スピリチュアルケア師
看護師
宮村 妙洋

認定臨床宗教師
医師
原 信太郎

誰もが健康でありたい、幸せでありたいと願っているのですが、予期せずして病に倒れることも、時には自分の命が脅かされる事態になることもあるでしょう。そんな時、「どうして私が病気になってしまったの」「まさか私はいない」「あなたに私の気持ちなんてわかるはずない」「みんなに迷惑かけるんじゃない」「早く迎えが来て欲しい」「戸惑い、悩み、苦しみ、怒りといった感情に襲われる方、その感情の一端を吐露される方もいます。

これらの想いを前にして、言葉を失うことが多いことでしょうか。希望の光が見えず、本人も家族も、時には援助者も苦しむことがあります。「なぜ?どうして?」という悲嘆や答えのない疑問に対して、必ずしも医学は明確な回答を持っているとは限りません。

愛野記念病院には、患者さんやその家族が抱える悩み、苦しみ、悲しみに寄り添い、力になりたいと願い、お話を聞かせて頂く専門家の「臨床宗教師」が2名在籍しております。

「臨床宗教師」は、被災地や医療機関、福祉施設などの公共空間で心のケアを提供する宗教者です。「臨床宗教師」という言葉は、欧米のチャプレンに対応する日本語として考えられました。布教や伝道を目的とせず、高度な倫理に支えられ、相手の価値観を尊重しながら、宗教者としての経験をいかして、苦悩

や悲嘆を抱える方々に寄り添います。さまざまな信仰を持つ宗教者が協力しています。

当院では主に、がんやその他疾患の終末期のケアにあたる緩和ケアチーム「すずらん」のメンバーとして、患者さんや家族の想いを傾聴しています。大切に思う家族だからこそ話づらい、聞きづらい想いというものもあるでしょう。家族に代わって、言葉にならない想いもそのまま受け止めていただきます。

医療スタッフのケアも担います。また今後は、関わる全ての医療スタッフと共に真の援助者たりえるようにと、共に学び、啓蒙活動も進めて参りたいと願っております。

他の医療者同様、守秘義務は厳守いたします。いつでもお声がけいただければ幸いです。

2019年2月

増築棟及び本館改装が完成しました

工事期間中は、関係者の皆様には大変ご不便、ご迷惑をおかけしました。
診察室や検査室の拡充、医療機器の導入、患者様の待合室や食事コーナーも充実しました。

ここが変わりました 1

総合待合室の拡張
今まで外来患者様の待合場所が足りない状況になっており、大変ご不便をおかけしました。待合スペースを広げました。



ここが変わりました 2

化学療法室の拡張と診察室の増設
化学療法を受ける患者様が增える中で2床から4床に増設しました。また、診察室も2室増設し外来診察も充実させていきます。



本館も拡張・増設



第1駐車場

ここが変わりました 3

会計案内表示システム
お会計の際お渡しする番号札の番号でお呼びいたします。



ここが変わりました 4

MRI 最新機の導入
今まで、0.4テスラのもの1.5テスラの2台体制でしたが、高い精度を求められることが増えてきたため、1.5テスラの2台体制にしました。
※詳しくはp3の特集をご覧ください。



増築棟には健診プラザや在宅医療介護サービス部門多目的ホールや売店があります



本館へ通り抜けできます。

2階



ここが変わりました 6

ATM
新しく設置しました、ご利用ください。



ここが変わりました 5

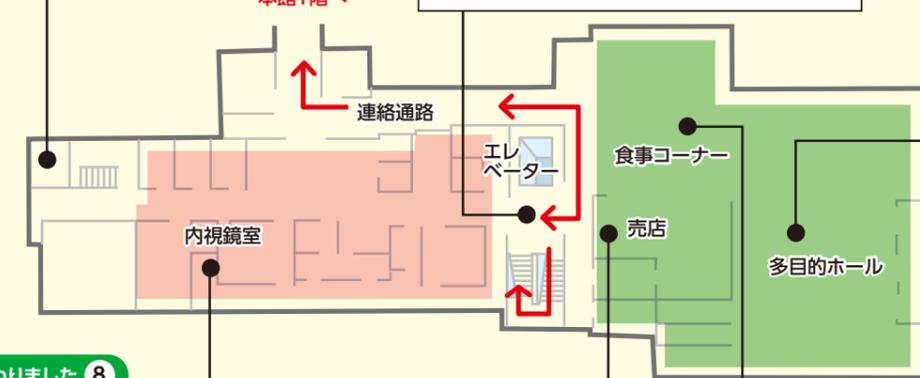
健診プラザ
旧健康センターから建物も一新し、各種健康診断を行っています。特定健診、企業健診、就職前検診、人間ドックなどお問い合わせは0957-27-5757まで。



ここが変わりました 7

売店横のエレベーターや階段を利用して直接第2駐車場(愛野駅前)へ行けます。

1階



ここが変わりました 8

内視鏡室
本館と健診の2ヶ所にあった内視鏡を1つに集め、効率よく検査が受けられるようになりました。リハビリルームもあり、検査後ゆっくり回復できます。



ここが変わりました 9

売店
品ぞろえもさらに豊富になり、お弁当や飲み物のほか、急な入院時にも必要なものがそろえられます。



ここが変わりました 10

食事コーナー
外来や会計の待ち時間やお見舞いの時のコーヒータイムなどにご利用いただけます。
開放時間/7:00~19:00



多目的ホール
各種勉強会や講演、会議などに利用します。

第2駐車場

Cookingレシピ



しょうがの調理と保存

- ★新しょうが
- ★葉しょうが
- ★ひねしょうが

しょうがには、7月～11月が旬の“新しょうが”、新しょうがもしくは種しょうがを貯蔵して翌年に出回る“ひねしょうが”、焼魚の付け合せなどに使われる“葉しょうが”があります。

香りはショウガオールで、抗酸化作用があり、がん予防に有効と言われています。また、食欲増進、抗菌・殺菌の作用もあります。辛味成分はジンゲロンで、体脂肪の燃焼を促進し、からだを温め、血行をよくします。これらの成分はかぜの初期症状の改善にも効果的です。



見分け方

新しょうがは皮にシワがなく、ふっくらしてみずみずしいものが◎。ひねしょうがは皮に傷がなく、ふっくらしたものが◎。

調理方法

新しょうが、葉しょうがは柔らかいので、甘酢漬けに。ひねしょうがはせん切りにして酢の物や煮物の天盛りに。また、薄切りにして炒めると香りが出て料理の風味づけや臭み消しに。

保存方法

洗って水気をふき、ポリ袋に入れて余分な空気を抜くように密閉し、冷蔵庫で保管します(3～4日)。表面が乾いても中が変わらなければ大丈夫。すりおろし用なら冷凍も可。1かけずつに分けておけば使うとき便利です。

管理栄養士 高原

【参考文献】

「からだに効く食べ方バイブル」著:阿部絢子 P.87
「からだによく効く食べもの事典」著:三浦理代 P.184-185
「non-no 野菜基本大百科」著:小島民雄 P.345

TOPICS

鍼灸院からの健康ひと言メモ

お灸の効果で細胞の活性化



皆様、こんにちは。寒さで体調を崩してはいませんか。寒い時こそ、お灸をして身体を温めてみませんか?今回は、お灸の具体的な効果についてご紹介したいと思います。

まず、HSP (Heat shock protein) ヒートショックプロテイン (以下HSP) というものをご存じですか?これは、お灸などをして、身体が温まることにより産生される特殊なタンパク質のことを言います。このHSPが人体に良い効果を与えるのです。

その、気になる効果ですが、

- 感染・疲労などで傷ついた細胞の修復
- ガンや病原菌を見つけ出して殺すNK (ナチュラルキラー) 細胞の活動を促進。また、ここにがん細胞があることを免疫系の細胞に教える「樹状細胞」を増やしその作用を強化する。つまり、お灸は、ガン細胞に対して有効的な施術法と言えます。
- 運動の2・3日前に加温すると、HSPが増え、乳酸の生成が抑えられる。筋肉痛が緩和される。つまり、スポーツでのパフォーマンスを高めることが出来ます。
- 肌では、紫外線などのダメージを受けた細胞を修復し、代謝を活性化させ、コラーゲンの合成が促進される。これにより、肌は潤いと張りが生まれアンチエイジングにつながる。
- HSPの増加により代謝が活性化するとダイエット効果にもつながります。

このように、すべての病気や傷害は、細胞の中にあるタンパク質の障害から起こります。障害されたタンパク質を修復してくれるのが「HSP」なのです。

また、この「HSP」の産生は老化とともに減ってくると言われています。そのことは、「高齢者はストレスに対して弱い。感染症になりやすい。アルツハイマー病になりやすい」ということを表しています。

老化とともに減ってくるこのタンパク質、増やしたいですね?

例えば、生姜を食べて体温を上げる方法や、鍼灸は、免疫学の分野で、注目されています。体温が平熱より1度上昇すると免疫力は5～6倍になると言われています。

普段から、入浴の際の温度に気を付けたり、お料理に生姜を加えたりすることは、とても効果的です。



岐伯鍼灸院



講師 広島東洋カープ コンディショニング担当トレーナー
森下 拓実氏 (小浜町雲仙出身)

当院を受診される野球少年の多くは、肩・肘の不調を抱えています。軽症例もありますが、受診した時には症状が進行してしまっていて、しばらく投球を控えなければならない...という例もあります。

「もう少し早く見つけられていたら投球制限の必要もなかったかもしれない...」
「早期発見・治療で野球を楽しく続けられるようになってほしい!!」

そんな思いから昨年12月23日(日)広島東洋カープコンディショニング担当トレーナーの森下拓実氏をお招きし、「投球障害予防セミナー」を開催しました。森下氏は日頃から投球障害予防を啓発活動されており、一昨年開催した第一回に引き続き講演いただき、当日は中学生70名と保護者、指導者合わせて103名の方がご来場されました。

前半は障害についての知識及びチェック方法の講話を、後半はプロ選手が行っている基礎動作のチェック方法など実演を交えた講演を頂き、今回も参加者からご好評いただきました。

当院では、整形外科の本田医師が毎週火曜日の午後の外来で野球肘などを診療しております。成長期のお子さんで肩・肘のトラブルを抱えている方はぜひ早めの受診をお勧めします。

広島東洋カープ コンディショニング
担当トレーナーによる

成長期における野球肘障害の予防と対処セミナーを開催しました!!

整形外科医 本田祐造



現場を直撃取材

地域医療連携室は、古賀宏延院長を室長として、入退院支援看護師2名、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)4名、事務1名の総勢8名で構成されています。

主な業務は、患者様やご家族の相談窓口、医療機関からの転院受け入れや外来受診の予約対応ですが、外来通院中の患者様の介護・福祉サービス利用に関することや、入院された患者様の退院後の生活などの相談も受けています。

また窓口としての機能に加え、患者様が必要とする医療・介護・福祉サービスの事業所への紹介などを行い、連絡調整役としての業務もこなします。

高齢化社会のなかで地域包括ケアシステムの構築を推進するため、地域の在宅医療について検討する会議や研修等へも参加し、地域の中で多職種との意見交換を積極的に行ってきました。

一方、本館改修工事に伴い、地域医療連携室の拠点は、昨年11月よりケアマネジementセンターや訪問看護ステーションと同じ増築棟へ引越しました。ピカピカの環境のなか心機一転業務に励みたいと思います。その様な環境の中で、

地域医療連携室

ケアマネージャーや訪問看護の視点、退院支援看護師やソーシャルワーカーの視点より意見が飛び交い、毎日活気あふれる現場になっています。

今後も患者様、地域のための窓口として業務に携わっていきたいと思います。

地域の医療・介護・福祉サービスを総合的にケア・連絡調整をする窓口として活躍しています!!

